



戦争法案廃案を訴える議員有志18日、新潟県阿賀野市

戦争法案

党派超え反対訴え

新潟・阿賀野 市議有志が宣伝

新潟県阿賀野市の「戦争法案に反対する市議有志の会」は18日、市内2カ所で街頭宣伝しました。会には、日本共産党の4市議と無所属市議4人が参加しています。

6月市議会で、9条の会提出の戦争法案反対の意見書が賛成9、反対9の同数となり、議長裁決で否決されました。「有志の会」は、新聞折り込みで全戸に反対を呼びかけるビラを配布しました。

サムズウオロク前の宣伝では、佐竹政志市議（無所属）が「戦争法案が通れば、アメリ

カと一緒にってどん
どん戦争に参加するの
ではないかと危機感を
持っている。同じフィ
ールドに立てば敵の標
的になり、テロにもさ
らされる。戦争体験者

があちこちで戦争は二
度と起こしてはならな
いと訴えている。平和
な日本をめざし頑張り
たい」と訴えました。
近山修市議（無所
属）は「憲法がなけれ

ばベトナム戦争に日本
は参加していたかもし
れない。憲法をないが
しろにする戦争法案に
反対を貫いて頑張っ
ていく」と力を込めま
した。

宮脇雅夫市議（共産
党）は「先の戦争では
阿賀野市で1548人
が犠牲になっている。
戦争は悲惨なだけ。紛
争は武力でなく、平和

外交での解決こそ現実
的。廃案めざし超党派
で頑張る」と訴えまし
た。

共産党の倉島良司、
稲毛明、山田早苗の3
市議も参加しました。
プラカードを持って
参加した女性は「ビラ
を見て来た。若いママ
の誰も殺し殺させない
の訴えに共感してい
る」と話しました。